

アトピーについて
これまでの学びからの考察
エメラルド

これまで、健康について学んだこと、ケイシー流健康法などから、
アトピーについて考察します。

今回はアトピーということで、私の体験ではありませんが、
これまで、健康について学んだことで、アトピーに関係することを
書き出してみます。

まず、健康に関して、ケイシー流の健康の原理がとてもわかりやす
いと思いますので、簡単に紹介します。

ケイシーは、4つの原理をすべて良好にすることが、健康のカギとし
ています。

- 1・循環（Circulation）血液・リンパ液からなる体液の循環
- 2・同化（Assimilation）食べた物を適切に消化吸収すること
- 3・休息・休眠（Relaxation/Rest）体を十分に休めること

4・排泄（Elimination）体内の老廃物を適切に排泄すること

この4つの英語の頭文字をとって「CARE」と呼ばれる。

詳しくは、エドガー・ケイシーセンター

エドガー・ケイシー療法とは

<http://edgarcayce.jp/?frc01>

この4つに対しての大まかな指示として

1・循環

背骨の歪みによって、循環が阻害されているとして、

脊骨などの矯正・マッサージ・運動を指示し、

正常な循環を促すようにしました。

背骨などの矯正には、オステオパシーがよく勧められました。

マッサージでは、その症状によってオイルの配合を変えて行います。

運動は、毎日歩くことがよいと勧められたり、自転車もよいと言わ

れたり、具体的な運動を指導したりしました。

2・同化

消化吸収に関することで、食事療法です。

ケイシーの食事療法は、独特の食べ方、食材もこれまでの栄養学にはない視点での選び方になります。

消化するのに負担のかかる食材として、豚肉があげられます。

（豚肉を食べる場合は、油を取り除いて）

加熱した油（酸化した油）も、好ましくないので、

揚げ物、炒め物はすすめられません。

生野菜をもっと食べるように勧められます。

柑橘系の果物は、炭水化物と一緒に食べないように

（消化が違うので、未消化になりやすい）

などがあります。

3・休息・休眠

ストレスも、病気の大きな要因になります。

十分に休息をとることは大切です。

4・排泄

この4つの原理の中で、ケイシーは特に4番目の排泄が非常に重視し、

体内に毒素（老廃物）が蓄積されることを

病気の最大の原因とみなしました。

毒素の排泄の方法として、食事による方法のほかに

◎ひまし油温熱パック

◎リンゴダイエット

◎コロニクス（洗腸）

を勧めています。

◎ケイシー療法の中のアトピーについて◎

ケイシーの病気のリーディングの中で、「乾癬（かんせん）」として
挙げられているのが、今のアトピーに近いようです。

以下、主なケイシー療法（疾病別）から引用

<http://edgarcayce.jp/?frc03#ka05>

乾癬

乾癬については 85 件のリーディングが残されています。乾癬は、これまでまとめられたケイシー療法の中でも最も卓越した成果を挙げている疾病の一つです。現代医学では乾癬は原因不明で有効な治療法がない難病の一つとされていますが、ケイシーはこの皮膚病の原因を明らかにし、それにたいする有効な治療法を与えています。

原因

現代医学は乾癬を皮膚の病気だと考えますが、ケイシーは、皮膚の症状はあくまで結果であって、原因は消化器にあるとしています。具体的には、十二指腸や小腸の腸壁が薄くなり、そのために単糖類まで分解されていない炭水化物や、アミノ酸レベルまで消化されていないタンパク質が薄くなった腸壁から体内に入り、それらが異物としてアレルギー反応を起こすのです。

治療法

乾癬の原因が、薄くなった腸壁にあるわけですから、治療法は腸壁を厚くすることが根本治療であり、また腸壁を厚くしている最中に、腸壁を侵入する未消化物になりやすい食べ物を食事から除去することが必要になります。また、腸壁を薄くする原因となっていたもの（体内毒素や骨格の歪み）を治します。まず、毒素排泄法としての、ヒマシ油パック、コロニクス（腸内洗浄）を定期的に行います。それと並行して、厳格な食事療法を行います。具体的には、豚肉、牛肉、揚げ物を禁食にする他に、腸壁を通過する毒素を含む食材（ナス、トマト、ジャガイモ、ピーマン、パプリカ、トウガラシ、コショウ）を避けます。また、腸壁を保護するために、ハーブティーとして、ニレ茶、サフラン茶を飲みます。特に、乾癬治療においては腸壁を保護するニレ茶は必須です。これらを実行することで、数ヶ月できれいな皮膚に回復しますが、ほとんどの人は、

途中で、乾癬がかえって悪化するという状態に遭遇します。これに驚いて治療を放棄すると元の木阿弥ですが、これを乗り越えると、腸壁が厚くなり、健康な皮膚を回復します。詳しくは「エドガー・ケイシーの自然療法」（徳間書店）を参照下さい。

以上転載

ところで、今回、ケイシー療法を上げたのは、
最近、放射能対策として某鹿児島ブログで紹介のあった

榑崎皐月博士 カタカムナ科学 電子水&チャージ技術（中和）

「カタカムナ」技術で作られた「電子水」を飲む！ その機械で、すべての食品・
食材を、放射能・農薬・科学物質をチャージ（中和）する
詳細はエレクトロングループ HP 参照
<http://electron-group.com/>

この資料を読んでいたところ、ケイシー療法の食事と言われる
酸化した油についての話と、アトピー性皮膚炎についての話があり
ましたので、もしも参考になればと思い、簡単にですが、要点と思
われることを書いてみました。

以下、エレクトロングループ資料より

電子水的作用原理とアトピー性皮膚炎

丹羽免疫研究所所長

京都大学医学博士

丹羽博士

1992 年 7 月 20 日「全国婦人の集い」での特別公演より

普通に水、と言っても、

その実際の形（結合）は、いろいろあるようです。

私たちが普通に飲む水は、

水分子がブドウの房のように手をつなぎ合って存在しているそうです。これをクラスターと言います。

このクラスターが大きいと、水中の重金属などを取り込み、酸性の水になるそうです。

これを電子チャージすることで、クラスターを小さくし、重金属などを手放して、弱アルカリ性に戻るそうです。

そして、この水を飲むことで、細胞が活性化し、賦活化し細胞の本来の働きが出来るようになることで、健康になっていく、ということのようです。

（体内の毒素が排泄されやすくなるのではないのでしょうか？）

過酸化脂質について

今の生活の中では、活性酸素が体内で異常に増加しているそうです。

この活性酸素が、体内で“あぶら”特に不飽和脂肪酸と結合すると、過酸化脂質という油性の物質が生じ、これが体内で適量を超えると、動脈硬化の原因や、細胞を傷つけ、破壊していくそうです。

この過酸化脂質が、皮膚の角質層の保湿機能を失わせている原因になっている、と分かってきたそうです。

アトピー性皮膚炎の患者さんに対して、古い油を使って調理しないこと、食べないこと（バターなどの油を含んでいるものは、古くなると過酸化脂質が作られやすくなっているから）を、油ものを食べる際の注意点としているそうです。

それから、白米を食べるとアトピーがひどくならないのに、玄米、あるいは3分、5分づきのお米だと悪化する場合や、大豆は悪化して、豆腐は大丈夫というのは、玄米、大豆に含まれる“あぶら”不飽和脂肪酸が原因しているそうです。

この油や食品に対して、水と同じように電子チャージすることで、不飽和脂肪酸の二重、三重結合を切断することが出来、アトピー性皮膚炎の患者さんが食べても大丈夫になるという結果が出ているようです。

電子チャージについて

水をきれいにするものとして

A) 遠赤外線

B) 金属イオン

(酸化金属、窯土、トルマリン、銅プラズマ、プラチナ電磁波繊維、パイウォーター)

C) 電場 (電子水製造装置等)

D) 磁気

E) 超音波

いずれも $4 \sim 14 \mu\text{m}$ の電磁波を放射するもの

(一般に遠赤外線と言われる)

電子水は、この $4 \sim 14 \mu\text{m}$ の電磁波をあてることで、大きなクラスターを、小さくして、「健康的な水」と言われる大きさにするようです。

同じように、食品そのものを電子チャージすることで、

食品中の結合を変えるようです。

エレクトロングループでは、

この電子チャージの機械を販売しています。

生命体に調和する水を求めて

「生命の水研究所」所長

松下和弘

水に関する調査の中で、温泉もクラスターが小さく

また、飲むと健康になるという水も、

クラスターが小さいことがわかった。

粗塩を水に入れると、水分子のクラスターを小さくする。

お風呂に粗塩を入れることで、

温泉水のように湯あたりが柔らかくなる。

とても簡単に書きましたが、詳しくは、

エレクトロングループの資料をお読みください。

人工的な入浴剤よりも、

粗塩をお風呂に使用したほうが環境にも体にも良いようです。

以上です。

ありがとうございました。